

# ばんこことジャンプ!

## 新庁舎の建設工事がいよいよ始まります!



ここは市民広場ですが、この下は、書庫・倉庫・公用駐車場となっています。現在の庁舎の地下部分を生かすことによって、1階に広い市民広場が確保できました。市民シンポジウムで出た意見「市民がくつろげる市役所」が実現します。

スケジュール	2019年	2020	2021	2022	2023	2024
	北側緑地整地工事他			2022年中に完成 引越し		
	新庁舎建設工事・インフラ引き込み 西側バス停移設等				旧庁舎解体工事	外構工事

<図は新庁舎整備計画中間報告より>

昨年10月に整備工事基本計画の中間報告が出され、12月議会では、それに基づいた全体の大きな工事費を議決しました。その額は約160億円。H30年3月の試算が135億円でしたので、18%ものアップとなります。

### 予算アップの理由として、

- ・消費税が8%から10%に引き上げられる
- ・東京五輪で建築資材が10%以上高騰している
- ・現庁舎の地下を生かすという工程が加わった
- ・大阪万博開催で、作業員の賃金が上がっている
- ・あまり低い予算だと業者が見つからない

などがあると説明を受けました。

あくまでも予算ですので、入札で価格が下がる可能性はゼロではありませんが、昨今の建築需要を考えると、あまり期待できそうにありません。

目次	項
*新庁舎の建設工事がいよいよ始まります!	1
*伊丹市のお墓事情(12月議会の一般質問から)	2
*市立伊丹病院はどうなる?	3
*市議会議員選挙は4月14日告示、21日投開票!	4

今年の6月議会で建設業者を議決します。完成は当初の予定よりも、3~6か月遅れる可能性がある、としています。

なぜ今なのか、もっと安くならないのか、もっと狭くてもいいのではないのか、というお声をたくさんいただきます。耐震強度不足が分かっている以上、あまり先延ばしにはできませんし、有利な国の財源を利用しようとするれば、この時期しかなかったと考えます。現在の庁舎は人口約16万人の頃の仕様です。人口約20万人の現在では、当時より市の仕事も増えていますので、必要とする面積は大きくならざるを得ません。

**ばんこの考え:** 市庁舎は伊丹市民全員の財産です。極力無駄を省きつつ(特に議会関連施設)も、市民の皆さんの使い勝手のいい市役所、訪れたいような施設になるよう、注視していくつもりです。

伊丹市では公共施設の床面積を減らしていく方向にありますが、新庁舎が完成すると、今よりも総床面積は増えてしまいます。ランニングコストを含め、将来の世代への負担を減らすために、公共施設の建て替えにはいっそう慎重な取り組みが必要となります。市民のみなさんと共に、公共施設のあり方を考えてまいります。



## 伊丹市のお墓事情 (12月議会の一般質問から)

友人が市外に親のお墓を建てた、という話を聞いて、市営墓地を調べてみました。市内にはいくつもの墓地がありますが、そのほとんどが寺墓・村墓で、宗教・住所地に関係なく使用できる公営墓地は2か所しかありません。市営斎場の南側にある「一ツ橋墓地」(160区画)と空港近くの「神津墓地」(510区画)です。いくら市域が狭いとは言え、近隣市と比較するとあまりにも少な過ぎではないでしょうか。

## 近隣市の公営墓地との比較

市名	区画数
伊丹市	670区画
尼崎市	8,000以上
川西市	3,800以上
宝塚市	1万以上
芦屋市	6,300以上
神戸市	7万以上

最近、大都市では「合葬式墓所」の建設が進んでいます。合葬式墓所とは、大きな建物を1つのお墓とみなし、たくさんの方のご遺骨を埋葬する施設です。お寺の墓地でも永代供養墓というものがありますが、公営の場合は宗教色は無く、自治体で「供養」をすることはありませんが、個人のやり方でお参りすることは可能です。また、故人の名前を名板に記して埋葬されている証とできますし、夫婦で1枚の名板に仲良く名前を刻んでもらうこともできます。費用は5万円～15万円程度(自治体や埋葬の種類による)に抑えられ、承継者の負担を減らすこともできます。生前申し込みも可能です。

## ばんこの質問:

伊丹市でも近隣市(宝塚市、芦屋市、神戸市、大阪市、明石市etc.)が行っている合葬式墓所を整備する必要があるのでは? 芦屋市のように、まずニーズ調査を行うべきと考えるが。

## 市の答弁:

市内には土地がないので、他市のような大規模な合葬式墓所を整備することはできないが、今後はこのようなお墓のニーズは高まってくると考えられる。場所・規模を検討し、来年度にニーズ調査を行い、現在の市営墓地の適正管理と併せて合葬式墓所を整備を進めていきたい。

〈スカイパーク南駐車場に隣接する神津墓地〉



民間の墓地にお墓を建てるにしても、墓地の永代使用料、墓石合わせて200万円～300万円程度かかるといわれています。市外ですと度々お墓参りにも行くこともできませんし、年を重ねればなおのことです。自分がお祀りできる間はいいですが、子どもの代になって果たして面倒を見てくれるのだろうか・・・自分亡き後のことも心配になってくる、とも聞きます。

〈宝塚市営合葬式墓地〉



ばんこの考え: 市営墓地とは、市営住宅と同じく市民しか利用することができません。市営墓地が極端に少ない伊丹市民は、費用のかかる民間墓地を市外に求めるケースがほとんどです。伊丹市に住み、働き、地域に貢献したのに、故人となったら他市へどうぞ、というのはあまりに無責任ではないでしょうか。現在の市営墓地の管理のあり方(無縁墓の判断基準、墓石簿の管理など)や市営墓地条例は、見直さなければならぬ点が多々あります。友引を休場とする現在の市営斎場の運営も見直すべきだと考えます。

お墓や斎場のことは、できれば遠ざけておきたいものですが、一生に一回、誰もがいずれ必要となるものです。市民のために、市は責任をもって取り組んでいただきたいと思います。



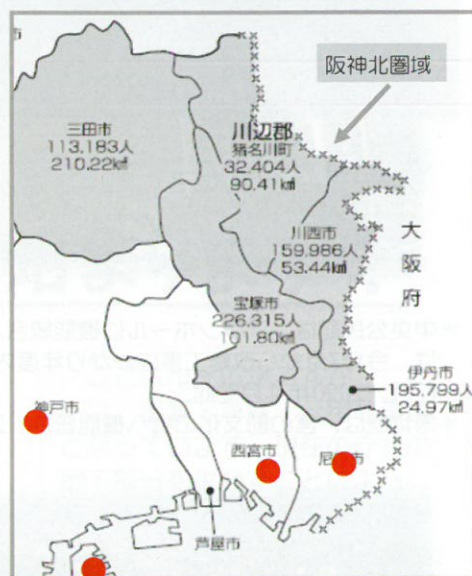
## 市立伊丹病院はようになる? 「あり方検討委員会」の報告は?

現在の市立伊丹病院は1983年に建設され、築36年が経過しています。団塊の世代が75歳以上となる2025年以降には、高度急性期病床と回復期病床が不足すると考えられます。2025年には築42年となり、今のままの設備・施設内容で続けられる限界に來ます。また、市立伊丹病院は2次救急病院ですので、脳外科や心臓外科の治療が必要な市民は、市外の3次救急を担う大病院に行かなければならないという悩みがあります。

そこで、伊丹市では市立伊丹病院は今後どうあるべきかを検討する委員会を立ち上げました。同時に、独自で建て替えを検討していた「近畿中央病院」と、連携を協議していく協定書を2017年2月に交わしています。近畿中央病院も伊丹病院も共にベッド数400床強の2次救急病院です。2病院とも今のままの病床数と診療科目では、やっていけない状況にあります。

川西市も宝塚市も同様の問題を抱えています。伊丹病院をどのように存続させるのか、阪神北圏域の高度医療にどのように貢献できるか、近畿中央病院も含め、宝塚市、川西市とどのように連携していくのかがいいのか、間もなく報告書が出されます。

＜南部に集中する県立病院 ●＞



＜市立伊丹病院＞



### ＜阪神間の公立病院の状況は?＞

#### 尼崎市

市立病院はありません。県立病院が大物と塚口にありましたが、老朽化に伴って1つに統合され、「県立尼崎総合医療センター」として再スタート。ベッド数730床、延床面積83,500㎡、敷地面積約36,000㎡。建築費約340億円（建設費210億円、医療機器等70億円、用地費60億円）。他に「関西労災病院（642床）」「尼崎中央病院（309床）」があります。

**ばんこの考え:** 上の地図にみられるように、県立病院は県の南部に偏っています。伊丹市も阪神北の2市1町と連携して、ずっと阪神北圏域に県立病院の建設を!と県に要望してきました。しかし、県からは前向きな返事はもらえず、一方で西宮市立病院を県に引き取るような決定がなされました。県立病院の再編で

#### 西宮市

西宮市立中央病院と県立西宮病院がありますが、老朽化が進む市立病院は県立病院と統合し、アサヒビール工場跡地(約26,000㎡)に県立県営で整備されることが決定。規模は600床程度。他に、「兵庫医科大学病院（963床）」、「明和病院（357床）」があります。

は、県立姫路循環器センターと製鉄記念広畑病院の統合も計画されています。県は今ある県立病院の立て直しだけしか考えていない、今まで県立病院がなかったのだから、自分たちでやれと言うのでしょうか。阪神北の高度医療の確立、という役割を県には求め続けるべきだと考えます。



## 進められる公共施設の機能移転、統廃合



- \*中央公民館は、スワンホールに機能統合。スワンホールは、今年7月から改修工事にかかり年度内休館、現中央公民館は、2020年4月閉館。
- \*博物館は、宮の前文化の郷へ機能統合。2022年4月開館予定。



- \*新庁舎の建設に伴って廃止される休日応急診療所。保健センター、休日診療所、口腔保健センター、健康福祉の窓口を1つにまとめた「新保健センター」を中央公民館跡地に建設。健康づくりの拠点施設として期待される。



- \*女性児童センターは、働く女性の家・女性交流サロン・児童館・プール・グラウンドからなる複合施設でした。プール跡地には、仮グラウンドが2019年秋頃オープン。グラウンド跡地には2020年4月に南部こども園が新設。その後、児童館を解体し、新しい児童館は2020年秋頃オープンします。
- \*ずっと要望していた男女共同参画の拠点は、商工プラザの5階に、「(仮)男女共同参画センター」が2020年春に新設されます。このセンターには大いに期待したいです。

## 市議会議員選挙は、4月14日(日)告示、21日(日)投開票！



県議選（4月7日投開票）に続いて、市議会議員選挙が行われます。伊丹市の投票率は、兵庫県下の市の中で、いつも下位という現状。ぜひ投票に行ってください。すでに街頭で立候補予定者が多数駅立ちをされていて、今回の選挙も激戦の様相です。候補者の市政に対する思いや考えを聞いてみてください。また、みなさんのご要望やご質問をぶつけてみてください。みなさんの声を市政に届ける議員を、皆さんの1票で選出してください。

高塚ばんこにも皆様の声・ご要望をお寄せください。生活のお困りごとやご相談もいつでも受け付けています。出前報告会、相談会、お一人でも大歓迎！ご連絡は、下記のメールか電話でお願いいたします。

### 高塚ばんこのプロフィール

1959年三重県生まれ、愛知県立大学スペイン学科卒業  
語学力を生かして貿易会社勤務、その後貿易会社を共同設立  
2003年、市議初当選、現在3期目  
いたみ未来ネット代表 議会改革特別委員会委員長  
文教福祉常任委員会委員 議会運営委員会委員

発行責任者：高塚ばんこ  
自宅住所：伊丹市西台3-6-22-302  
Tel 090-1147-4400 ㊚ banko@brown.plala.or.jp  
市議会事務局電話 072-783-1344  
ブログ：「ばんこがいく！」もよろしくお願いたします！

